

公益財団法人ハイライフ研究所

Research Institute for High Life

# 高齢者の食品購買行動 2019



ハイライフ研究所では、2016年から2018年にかけて、近未来消費研究の一環で高齢化と人口減に伴う消費行動の研究を行いました。また、2018年には購買履歴データによる消費行動の検証を発表し、900項目を超える全食品カテゴリー別の購買行動概要の詳細分析を加えました。この研究発表を背景に、食品全カテゴリー別の購買行動を詳細に見ていくことで、高齢者の食品消費行動を把握し、食生活動向の定点観測を行います。

集計には、近未来消費研究で使用した株式会社ショッパーインサイトの購買履歴データ、また同社が保持するローデータを用い、必要に応じて本コンテンツ向けに独自集計、加工分析いたします。

2019年度1年間を通してコンテンツを展開していきます。

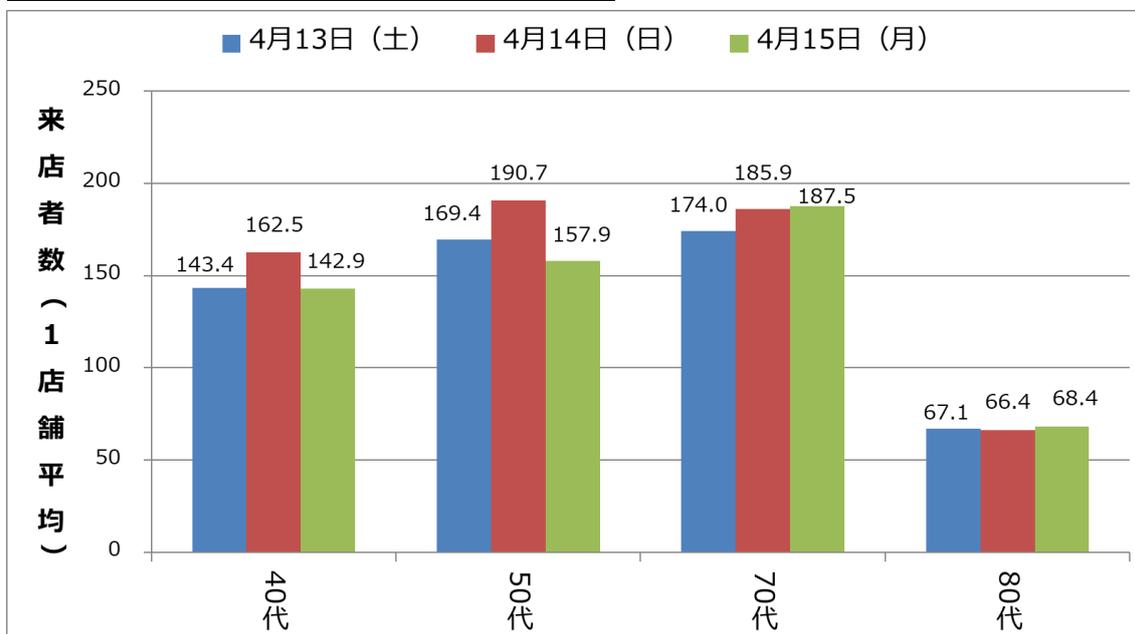
第2回目は、年金支給日の購買行動を取り上げます。偶数月の15日は年金（国民年金、厚生年金などの公的年金）支給日になります。その際、シニア層の購買行動に変化はあるのでしょうか。第2回目は、年金支給日の70代以上の購買特徴を分析します。近未来消費研究で使用した株式会社ショッパーインサイトの購買履歴データ、また同社が保持するローデータをうい、本コンテンツ向けに同時集計、加工分析いたしました。

尚、第1回のコラムでは5歳刻みに分析を行いました。団塊の世代が70代に突入したことで、大きな変化が予想されます。そこで、今回は70代、80代と40代、50代を比較しました。

### 1. 年金支給日には、70代、80代の来店者が増加する。

例として、年金支給日となる4月15日（月）の動向を分析しました。最初に、4月15日の1店舗当たり来店人数を年代別に集計しました。比較のため、前日、前々日も集計しました（図表1）。

図表1 年代別1店舗当たり来店人数（4月）

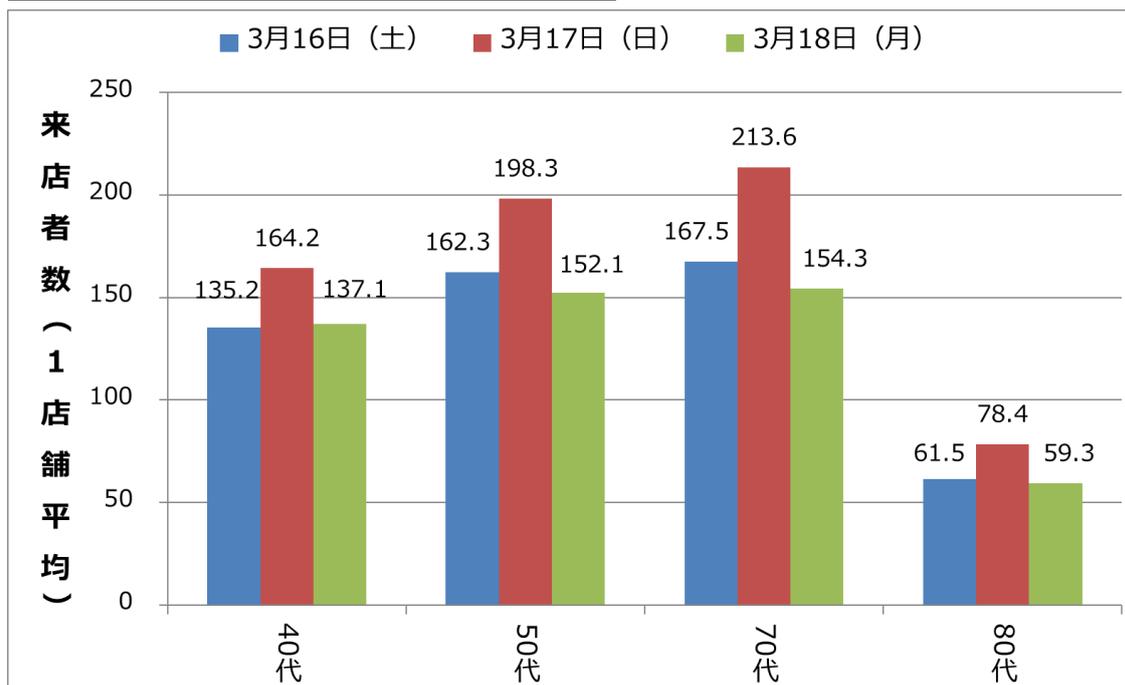


通常、土日には来店者が増えるため、月曜日は来店者が減る傾向にあります。実際、40代と50代は月曜日に来店者が減少しました。しかし、70代、80代は土日と比較しても来店者が増えています。年金支給日に伴い、食品スーパーで購買しようという意識が働いたよう

です。

参考までに前月同週の年代別1店舗当たり来店人数も集計しました(図表2)。すると、3月は70代、80代ともに月曜日の来店者は土日に比べて減りました。やはり、年金支給日には購買意欲が湧くようです。(3月は年金支給月ではありません)

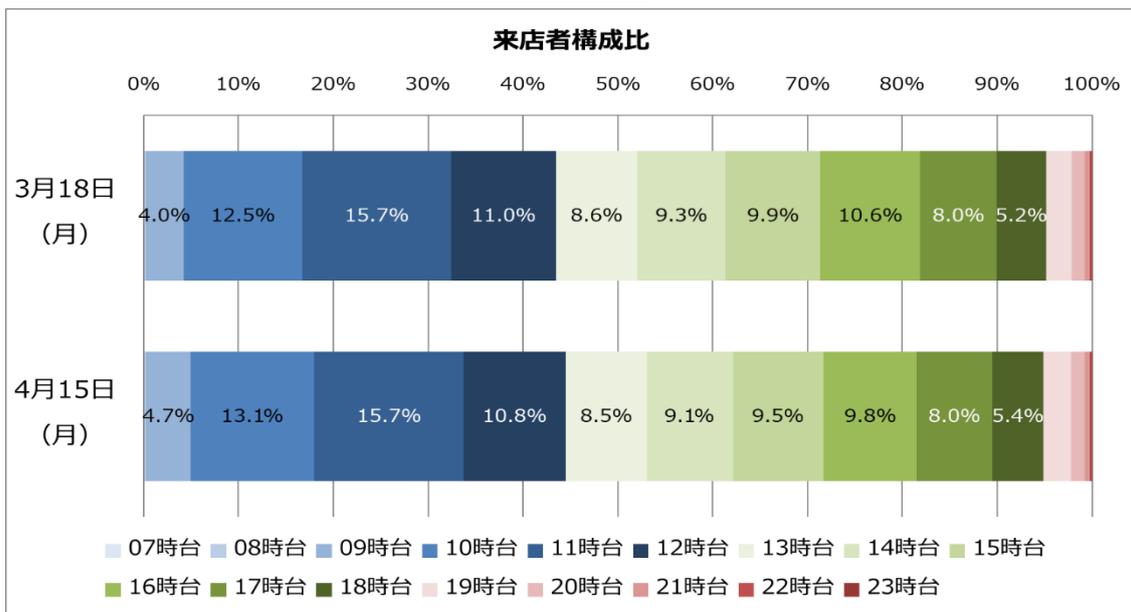
図表2 年代別1店舗当たり来店人数(3月)



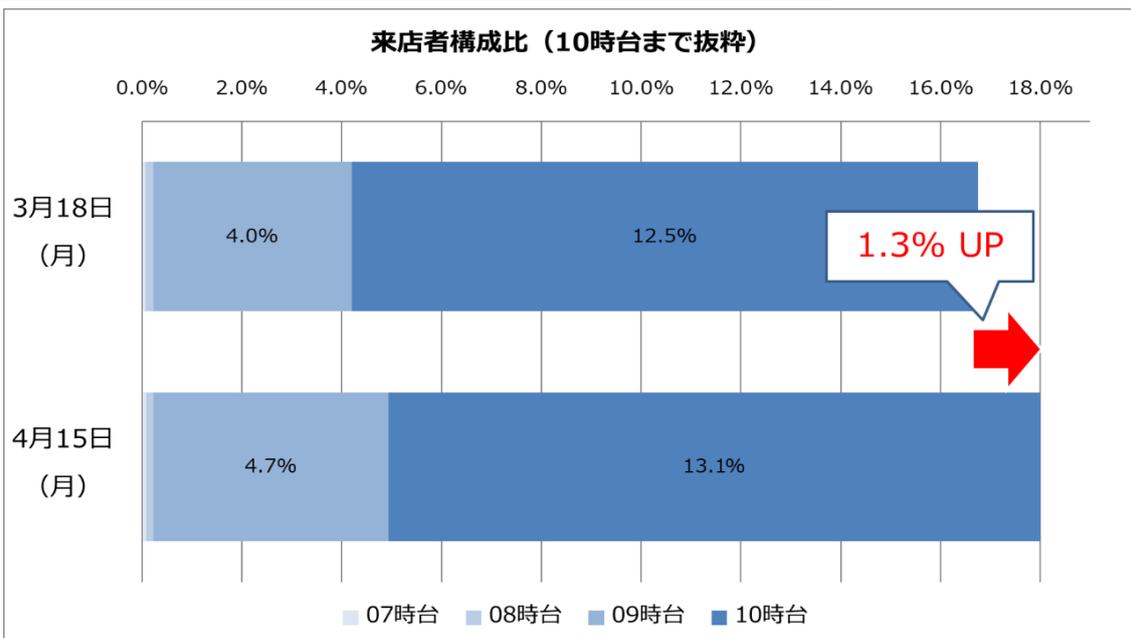
## 2. 年金支給日には、70代、80代の来店時間帯が通常よりも早まる。

次に、70代以上の時間帯別の来店者数構成比を、年金支給日と前月同曜日と比較しました（図表 3A）。すると、元々シニア層の来店時間帯は早い傾向にありますが、年金支給日はさらに早まっていることがわかりました（図表 3B）。

図表 3A 時間帯別来店者数構成比（70代以上）



図表 3B 10時台までの時間帯別来店者数構成比（70代以上）



### 3. 年金支給日には、70代、80代のバスケット単価、平均購買点数が若干高まる。

それでは、どのようなものを購買しているのでしょうか。カテゴリー別に見る前に、食品全体での購買特徴を把握します。70代以上のバスケット単価、購買点数、商品単価を集計し、年金支給日と前月同曜日で比較しました（図表4）。

図表4 購買者データ（70代以上）

70代以上購買者データ 主要指標	3月18日 (月)	4月15日 (月)
平均バスケット単価 (円)	2,109.0	2,187.7
平均購買点数 (点)	10.1	10.4
平均商品単価 (円)	208.2	209.4

バスケット単価と平均購買点数は若干高まりました。しかし、商品単価はほぼ変わりません。このことから、いつもよりもいいものを買おう、という意識よりも、いつもよりプラス1点購買しようという意識が働いたものと思われます。

今回はシニア層の年金支給日の購買行動を分析し、以上のことがわかりました。

- ・シニア層は、通常よりも年金支給日に食品スーパーに来店する傾向にある
- ・通常よりも食品スーパーに来店する時間が早まる
- ・通常よりもプラス1点購買するシニア層が多い

次回は、カテゴリー別に細かく集計し、年金支給日に買われやすい食品の特徴を把握します。